

第3回山口県緩和ケアチーム研修会報告書

山口大学医学部附属病院
緩和ケアセンター事務局

開催概要

開催日時：令和3年8月21日（土）14：00～15：30

主催：山口大学医学部附属病院緩和ケアセンター

後援：山口県健康福祉部医療政策課

開催形式：Web会議システムによるオンライン開催

参加施設：国立病院機構岩国医療センター

山口県厚生農業協同組合連合会周東総合病院

地域医療機能推進機構徳山中央病院

山口県立総合医療センター

国立病院機構山口宇部医療センター

山口県済生会下関総合病院

医誠会都志見病院

山口県厚生農業協同組合連合会長門総合病院

山口大学医学部附属病院

受講者数：48名（医師9名、心理師2名、看護師19名、薬剤師4名、
管理栄養士3名、MSW6名、リハビリテーション職員5名）

プログラム

開会挨拶 山口県健康福祉部医療政策課 主幹 岩根 真也

14：00～15：30 特別講演

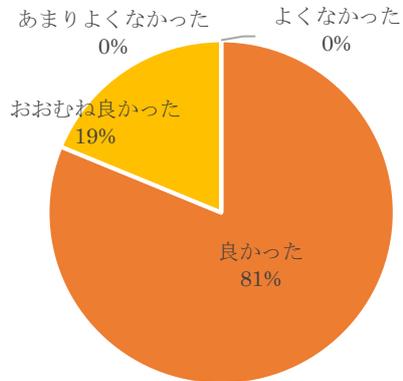
「明日からできる！心不全の緩和ケア」

飯塚病院 連携医療・緩和ケア科 大森 崇史先生

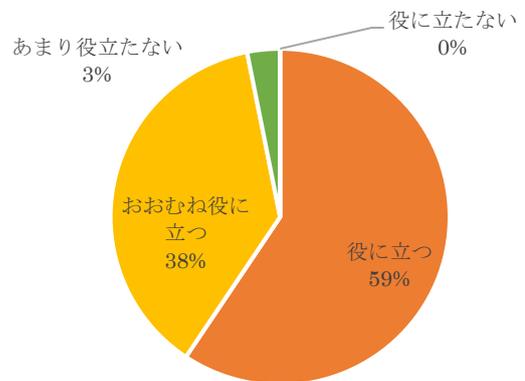
閉会挨拶 山口大学医学部附属病院 緩和ケアセンター 助教 山縣 裕史

アンケート

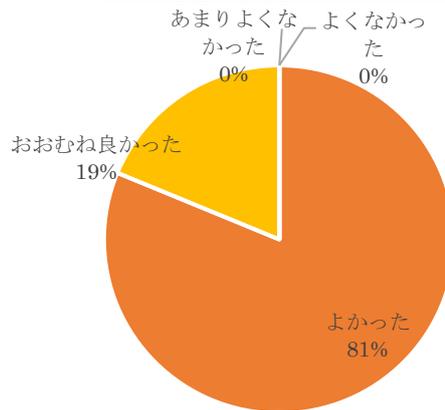
この研修会に参加してよかったですか？



この研修会で得たことは今後の緩和ケアチーム・緩和ケア病棟での活動に役立ちますか？



特別講演はいかがでしたか



緩和ケアチーム研修会で取り上げてほしいテーマや内容についてお聞かせください。

- ・がんゲノム医療
- ・コロナ禍の取り組みについて
- ・コロナ禍における緩和ケアチームの介入内容
- ・今回のような非がん患者の緩和ケアに焦点を当てた研修
(現在、スクリーニングにおいて整形外科の患者の介入希望が増えてきたため)
- ・各職域での活動報告
- ・緩和ケアにおける鎮静の方法について
- ・コロナ禍での緩和ケアチームの介入の仕方や、面会制限下での悲嘆の解消法など
- ・事例

- ・ ACP について
- ・ 最新のオピオイド知識について
- ・ 非がん患者の症状ケアについて
- ・ 呼吸器疾患の緩和ケア
- ・ 神経・筋疾患の緩和ケア
- ・ 小児の緩和ケア
- ・ 心不全患者さんの緩和介入の実際（どのように介入したか）
- ・ 家族支援、グリーフケア（コロナ禍での看取りで、どこも難渋しているテーマだと思います。各施設での報告等も含めて考えたいところです）

緩和ケアチーム研修会のご感想や、ご要望についてお聞かせください。

- ・ Web 開催で、手軽に受けられることがとても良かった。事前に資料もあり、当日資料に沿って話され分かりやすかった。心不全の緩和ケアが当院でも進むといいなと思った。
- ・ 貴重な機会をありがとうございました。オンラインだと参加しやすかったです。
- ・ 今後、心疾患の患者さんが増えるということを考え勉強していきたいなと思いました。ありがとうございました。
- ・ 研修会は勉強になったが、当院では緩和ケアチームで対象となる患者は少ないと感じた。
- ・ アンケート送信は他者にアドレスが漏れないよう CC でなく BCC を使ってほしい。
- ・ アンケートは匿名性が保たれる方が良いのではないか。(Google フォームを用いる等)
- ・ なかなか非がんへの対応はできていないが、今後非がんにも対応していかないといけないことを実感しました。ありがとうございました。
- ・ 心不全の緩和ケアについて、話を聞く機会がなかなかなかったのでとても勉強になりました。
- ・ 勉強になりました。今後、緩和ケアに関わる時はこの研修の学びを活かしていきたいです。
- ・ チームの必要性がよく分かりました。
- ・ 心不全緩和ケアは当院で関わったことがなかったため、大変勉強になりました。通常診療でも活かしていきたいと思います。
- ・ 心疾患の病みの軌跡はがん終末の過程と異なり、加療継続の判断が困難だと感じました。
- ・ 心不全の緩和ケア、HEPT が広がることは、緩和ケアそのものの理解も一般の方や医師にも伝わる機会となり、大きな意味があると感じました。ありがとうございました。

- ・ Web になり、顔を合わせてではないのはさみしいですが、いろんな人が参加できてよかったです。
- ・ Web での研修会でしたが、皆さんと意見交換やとてもわかりやすい研修であり勉強になりました。がん患者さんだけでなく、心不全や非がん患者さんのターミナルケアについても今後病院内で取り組んでいく事が課題だと感じました。
- ・ Web 開催でしたが、滞りなく行え、大変勉強になりました。質問や返答などもしやすく良かったと思います。準備が大変だったと思います。ありがとうございました。
- ・ がん以外の介入についての研修を受けるのは初めてでした。もっと具体的な介入について聞いてみたいです。
- ・ 心不全患者への介入の必要性を改めて感じました。
ACP の必要性も感じ、少しずつ病棟で介入を始めていきたいと思います。療養指導を充実することで心不全の悪化を防ぎ、再入院予防を行えたらと思います。
- ・ 現場で実践されている講師の方だったので、具体的な症例・介入を挙げていただき、とても分かりやすかったです。